

H27年度 特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター  
南アフリカ共和国  
リンポポ州ベンベ郡マカド地区における貧困下に暮らす青少年育成事業

〈ドロップ・イン・センター〉



親がいないなど家庭環境が困難な状況下にある子どもたちが通う「ドロップ・イン・センター」。村の住民「ケア・ボランティア」が運営する。ドロップ・イン・センターは子どもたちが安全に過ごせる場所。読み聞かせや伝統的なダンスや詩を学ぶなど、様々な活動が行われる。

子どもたちを地域で守り、育てていくためには住民の協力が欠かせない。ドロップ・イン・センターの活動について知ってもらうため、「オープン・デー」として、子どもの保護者や地域の住民、関係者を招待し、日ごろの活動の様子を見学してもらう。

(特活)日本国際ボランティアセンター

## ＜ケア・ボランティアの育成＞



ケア・ボランティアは、研修などを受ける機会などがなく、子どものケア、サポートに関する十分な知識、スキルがない。

ケア・ボランティアを対象とした、子どもの虐待に関する研修。トレーナーから児童虐待の分類、具体的な内容、その際の子どもの症状と発見の仕方について講義。ボランティアたちの表情は真剣そのもの。

## ＜食べものをつくるための菜園づくり研修＞



ケアボランティア(上段)、地域住民(下段)を対象とした、身近な自然資源を使い、お金をかけない自然農法による菜園づくり研修。自分たちや地域の子どもたちが食べられるように。研修を受けた人から他の人へ広げていけるように。